

市数研だより

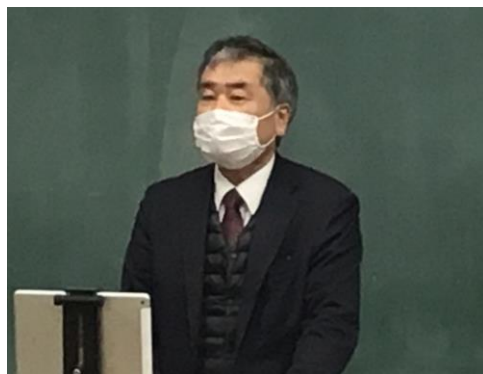
令和5年1月18日発行 NO. 6 熊本市中学校数学教育研究会

1月の定例会が1月12日（木）に出水南中学校で行われました。今回もZoomでの配信だけでなく、従来の対面式での参加も可能とし、来年度の九州数学教育研究大会に向けた授業づくりがありました。

1. あいさつ

市数研会長（花陵中学校 田口校長先生）

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。メジャーリーグで活躍したイチロー選手が昨年8月マリナーズの殿堂入りを果たしました。その時のスピーチで次のようなことを言っています。「自分自身を制限せず、日々の課題を克服する欲求と情熱を見出さなければなりません。それが自分の可能性を最大限に引き出す方法なのです。そうすると想像できないようなことを成し遂げることができます。」この言葉は、我々市数研の活動にも当てはまると思います。いよいよ今年7月に九州大会を開催されます。イチロー選手の言葉のように日々の課題を克服する欲求と情熱をもって研究を重ねて、素晴らしい大会になることを願っています。



2. 九州大会の授業づくり

研究部長の宮本先生より、九州大会までの今後の流れの説明がありました。

3月…指導案づくり（ある程度の形になった状態まで）

4月…事前授業などを通して、指導案の練り直し

5月…正式な指導案の完成

6月以降…製本作業

また、市数研会長の田口校長先生より、1年A部会の授業者が事情により変更になったことの説明がありました。1年A部会の授業者は、錦ヶ丘中の宮崎先生です。

それぞれの部会の進捗状況は次の通りです。

【1年A部会】

授業者が変更になったこともあり、新しい授業内容の検討を行った。助言者の熊本大学の吉村教授よりさまざまなアドバイスをいただき、授業者の思いを大切にしながら、授業づくりを進めていきたい。

【1年B部会】

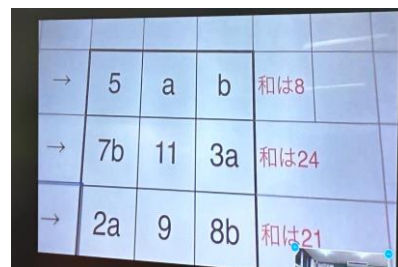
積の魔法陣のしくみを考えていく授業である。目標を「素因数分解のよさに気づく」から「素因数分解を使って考えることができる」に変更することを考えており、その目標にそった授業の流れを再検討している。2月中旬以降に事前研を行う予定である。

【2年A部会】

「17 段の不思議」の授業を行う。県大会での授業を発展させようとしすぎていたところがあるので、シンプルな展開に戻していこうと考えている。生徒が17段の不思議に気づいて驚くような授業づくりを行っていききたい。

【2年B部会】

レントゲン撮影のしくみに関する授業である。連立方程式をより意識させて、最終的にレントゲン撮影のしくみとの関連につなげていくという授業を考えている。表計算ソフトを使いながら、解を求めることができるような連立方程式を自分でつくるという流れで考えている。



→	5	a	b	和は8
→	7b	11	3a	和は24
→	2a	9	8b	和は21

【3年A部会】

二次方程式のディオファントスの解き方についての授業を行う。これまで2回事前授業を実施している。途中でディオファントスからヒントをもらうという流れで授業を考えている。事前授業では、三平方の定理を使って解く生徒が多くいたので、タブレットで四角形を等積変形することが自由にできるアプリを使って、ディオファントスの考え方にうまくつなげていきたい。

【3年B部会】

「親子三角形」と言われる相似な2つの正三角形を組み合わせた図形を扱い、そこに隠れる性質を考える授業を行う。図形を動かすことで形が変わっていくが、それでも変わらない関係がある。その関係を説明していく授業を行っていききたい。



3. まとめ

市数研副会長（天明中学校 榎木校長先生）

活動の様子を見ていると、事前研を受けてさらに改善していくことができおり、よい授業に向けて進んでいるように感じました。私が九州大会の授業者を務めたとき、この時期に悩んでいたことは、いろいろなアドバイスを取り入れすぎて授業時間内に収まらないということでした。直前の事前研まで悩み、最終的には最初に考えていた授業展開で行いました。最初と同じ流れではありませんでしたが、授業者としてはいろいろな展開があり、どういう発問がベストだったのかを知った上で授業を行うことができました。事前研でいろいろとやってみることで多くのことに気づくことができ、よかったと思っています。授業者の先生方は、事前研など大変だとは思いますが、本番に向けて確実に良くなってきていると思います。いながら頑張してほしいと思います。



4. お知らせ

次回の定例会は、**2月9日(木)19時～ 花陵中学校**です。

高木校長先生（五霊中）の退職記念講話も予定されています！

実施方法については、また改めてご連絡いたします。

ご質問やご感想がありましたら、下記のアドレスまでお願いします。

shiiba.masahiro@kumamoto-kmm.ed.jp

- ・定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！！
- ・各学校から**1名以上の参加**をぜひともお願いします！！
- ・特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします。

文責 城南中学校 椎葉 将大